

令和6年10月3日
財 務 局

令和5年度東京グリーンボンド対象事業への資金充当結果について

令和5年度に総額503.17億円※で発行した「東京グリーンボンド」の資金使途対象となる事業における充当結果を取りまとめましたので、以下のとおりお知らせいたします。

※ 円貨建による発行額（400億円）と外貨建による発行額（100億円相当として発行）を条件決定時の為替レートで換算した金額（103.17億円）を合算した額です。

記

1 新規の支出への充当分

No	事業名	東京グリーンボンド 環境事業区分 (別添参照)	充当結果（百万円） ※1	環境効果 ※2
1	ヒートアイランド現象に伴う暑熱対応（遮熱性・保水性の向上）	1.エネルギーの脱炭素化と持続可能な資源利用によるゼロエミッションの実現	1,142 (1,300)	■遮熱性・保水性舗装の整備延長 <u>10km</u>
2	都有施設の改築・改修	1.エネルギーの脱炭素化と持続可能な資源利用によるゼロエミッションの実現	9,476 (7,929)	■再生可能エネルギー使用量 (年計) <u>5,197,316kWh</u>
		2.生物多様性の恵みを受け続けられる、自然と共生する豊かな社会の実現	3,155	■緑化面積の拡大 <u>10,442.49 m²</u>
3	都有施設・道路の照明のLED化	1.エネルギーの脱炭素化と持続可能な資源利用によるゼロエミッションの実現	1,447 (1,131)	■エネルギー削減量 (年計) <u>7,062,730kWh</u>
4	公社住宅における太陽光発電設備設置事業	1.エネルギーの脱炭素化と持続可能な資源利用によるゼロエミッションの実現	1,200 (658)	■再生可能エネルギー使用量 (年計) <u>825,056kWh</u>
5	都立学校の環境改善（ゼロエミッション化の推進）	1.エネルギーの脱炭素化と持続可能な資源利用によるゼロエミッションの実現	30 (448)	■再生可能エネルギー使用量 (年計) <u>951,679 kWh</u>

No	事業名	東京グリーンボンド 環境事業区分 (別添参照)	充当結果(百万円) ※1	環境効果 ※2
				■エネルギー削減量 (年計) 2,794,440 kWh
6	再生可能エネルギーの活用 に向けた蓄電池設置事業	1.エネルギーの脱炭素化と持 続可能な資源利用によるゼ ロエミッションの実現	38	■蓄電池の出力 <u>750kW</u> (R6 年度末ま で)
7	自転車走行空間の整備	1.エネルギーの脱炭素化と持 続可能な資源利用によるゼ ロエミッションの実現	92 (95)	■整備延長 サイクリングルート 11.5km 整備 (R6 年度末まで) 自転車通行空間 50.7km 整備 (R12 年度末まで)
8	都立公園の整備	2.生物多様性の恵みを受け続 けられる、自然と共生する 豊かな社会の実現	4,230 (3,200)	■整備面積 <u>71,548</u> m ²
9	水辺空間における緑化の推 進	2.生物多様性の恵みを受け続 けられる、自然と共生する 豊かな社会の実現	262	■整備面積 <u>3,568</u> m ²
10	中小河川の整備	1.エネルギーの脱炭素化と持 続可能な資源利用によるゼ ロエミッションの実現	9,889 (11,500)	■河川の整備率 <u>68.4</u> % ■調節池の貯留量 1,056,500 m ³ (R7 年度末まで)
11	高潮防御施設の整備	1.エネルギーの脱炭素化と持 続可能な資源利用によるゼ ロエミッションの実現	300 (771)	■整備延長 防潮堤 <u>0.02</u> km (R6 年度末まで)
12	土砂災害対策施設・海岸保 全施設の整備	1.エネルギーの脱炭素化と持 続可能な資源利用によるゼ ロエミッションの実現	1,040 (1,000)	■整備箇所数 砂防施設 <u>45</u> 箇所 海岸保全施設 <u>2</u> 箇所 急傾斜地崩壊対策 <u>12</u> 箇 所

No	事業名	東京グリーンボンド 環境事業区分 (別添参照)	充当結果(百万円) ※1	環境効果 ※2
13	東京港・島しょ海岸保全施設整備事業	1.エネルギーの脱炭素化と持続可能な資源利用によるゼロエミッションの実現	2,479 (2,610)	■整備規模及び施設数 東京港の防潮堤 60.4km 整備 東京港の水門 15 施設整備 東京港の内部護岸 47.9km 整備 東京港の排水機場 4 施設整備 (いずれも R13 年度末まで) 伊豆諸島の海岸保全施設 0.3km 整備 (R5 年度末まで)
14	海上公園の整備 (海の森公園整備事業)	2.生物多様性の恵みを受け続けられる、自然と共生する豊かな社会の実現	119 (41)	■整備面積 海の森公園(森づくりエリア) 約 60ha 整備 (R6 年度末まで)
15	ゼロエミッション・ビークル(ZEV)の充電設備の整備	1.エネルギーの脱炭素化と持続可能な資源利用によるゼロエミッションの実現	2	■充電設備 18 台 ■充電設備導入に伴い、従来車両から ZEV に更新することでの CO₂ 等排出削減率 CO₂(二酸化炭素) 100% NO_x(窒素酸化物) 100%

No	事業名	東京グリーンボンド 環境事業区分 (別添参照)	充当結果(百万円) ※1	環境効果 ※2
16	ゼロエミッション・ビークル(ZEV)の導入	1.エネルギーの脱炭素化と持続可能な資源利用によるゼロエミッションの実現	32 (31)	■従来車両から ZEV に更新することでの CO₂ 等排出削減率 PHV CO₂ (二酸化炭素) 20.1% EV バイク NO_x (窒素酸化物) 100% CO (一酸化炭素) 100% HC (炭化水素) 100%
17	環境にやさしい都営バスの導入	3.都民の安全・健康が確保された、より良質な都市環境の実現	1,900 (2,100)	■排出ガス規制対象物質削減率 NO_x (窒素酸化物) <u>81</u>% PM (粒子状物質) <u>65</u>%
18	水道施設の省エネ化	1.エネルギーの脱炭素化と持続可能な資源利用によるゼロエミッションの実現	794	■発電量 497,844kWh (R6 年度末まで) エネルギー削減量 (年計) 1,376,094kWh
19	下水道事業におけるエネルギー・地球温暖化対策	1.エネルギーの脱炭素化と持続可能な資源利用によるゼロエミッションの実現	2,300	■温室効果ガス削減量 (能力値) 3.3 万 t・CO₂/5 年 (R7 年度末まで)
20	合流式下水道の改善	1.エネルギーの脱炭素化と持続可能な資源利用によるゼロエミッションの実現	700	■貯留施設等の貯留量 175 万 m³ (R7 年度末まで)
21	浸水対策	1.エネルギーの脱炭素化と持続可能な資源利用によるゼロエミッションの実現	1,000	■下水道 50 ミリ浸水解消率 73% (R7 年度末まで)
合計			41,627	

※1 資金充当額は、執行状況などを総合的に勘案して決定した、令和5年度決算値です。充当事業のうち、令和5年9月4日付「令和5年度東京グリーンボンド対象事業の決定について」における充当予定額からの増減があったものには、括弧書きにより当初の数値を示しております。

※2 環境効果は、令和5年度末時点において各事業の実施により得られた、または得られると想定された環境への好影響のことであり、「対象事業の決定」から数値等の変動があったものは、下線を付しております。

2 既存の支出のリファイナンスへの充当分（平成30年度東京グリーンボンド（リファイナンス分））

No	事業名	東京グリーンボンド 環境事業区分 (別添参照)	環境効果 ※1	経過 年数	残存許 可年数 ※2	リファイナンス額 (百万円)
1	ヒートアイランド現象に伴う暑熱対応 (遮熱性・保水性の向上)	1. エネルギーの脱炭素化と持続可能な資源利用によるゼロエミッションの実現	■ 遮熱性・保水性舗装の整備延長 13km	5年	25年	833
2	都有施設の改築・改修	1. エネルギーの脱炭素化と持続可能な資源利用によるゼロエミッションの実現	■ 太陽光発電設備の想定発電量 (年計) 396,975kWh	5年	25年	1,258
		2. 生物多様性の恵みを受け続けられる、自然と共生する豊かな社会の実現	■ 緑化面積の拡大 5,866 m ²			876
3	都有施設・道路の照明のLED化	1. エネルギーの脱炭素化と持続可能な資源利用によるゼロエミッションの実現	■ エネルギー削減量 (年計) 7,405,623kWh	5年	25年	1,760
4	自転車走行空間の整備	1. エネルギーの脱炭素化と持続可能な資源利用によるゼロエミッションの実現	■ 整備延長 サイクリングルート 11.5km (R6年度末まで) 自転車走行空間 15.7km (R2年度完成)	5年	25年	83

No	事業名	東京グリーンボンド 環境事業区分 (別添参照)	環境効果 ※ 1	経過 年数	残存許 可年数 ※ 2	リファイナンス額 (百万円)
5	都立公園の整備	2. 生物多様性の恵みを受け続けられる、自然と共生する豊かな社会の実現	■ 整備面積 23,700 m ²	5 年	25 年	250
6	中小河川の整備	1. エネルギーの脱炭素化と持続可能な資源利用によるゼロエミッションの実現	■ 河川の整備率 67.3 % ■ 調節池の貯留量 1,056,300 m ³ (R7 年度末まで)	5 年	25 年	2,548
7	高潮防御施設の整備	1. エネルギーの脱炭素化と持続可能な資源利用によるゼロエミッションの実現	■ 整備延長 防潮堤 0.17km 護岸 0.15 km (R 元年度完成)	5 年	25 年	583
8	東京港・島しょ海岸 保全施設整備事業	1. エネルギーの脱炭素化と持続可能な資源利用によるゼロエミッションの実現	■ 整備規模及び施設数 東京港の防潮堤 60.4km 東京港の水門 15 施設 東京港の内部護岸 45.6 km 東京港の排水機場 4 施設 (いずれも R13 年度 末まで) 神津島港海岸の離岸堤 (潜堤) 0.3 km (R 元年度完成)	5 年	25 年	499
合 計						8,690

※1 環境効果は、平成30年度末時点において各事業の実施により得られた、または得られると想定された効果のことです。

※2 残存許可年数とは、地方債発行時に総務省へ届出を行った許可（償還）年限（当該地方債を財源として建設しようとする公共施設又は公用施設の耐用年数の範囲内）から資産の経過年数を引いたものです。

以上

別添：東京グリーンボンドにおける環境事業区分

【問い合わせ先】
財務局主計部公債課
直通 03-5388-2682

東京グリーンボンドにおける環境事業区分

東京都環境基本計画（2022年9月）に基づき設定した環境事業区分及び当該環境事業区分ごとの東京グリーンボンドの対象事業例と想定される環境効果は下表のとおり。

No	環境事業区分	対象事業の例示	想定される環境効果
1	エネルギーの脱炭素化と持続可能な資源利用によるゼロエミッションの実現	■ 事業所における温室効果ガス削減 ■ 省エネルギー対策・エネルギーマネジメントの推進 ■ ゼロエミッションビークルの普及促進 ■ 次世代交通導入、自転車利用促進 ■ 再生可能エネルギー等（太陽光、地中熱、下水熱及び水素等）利用率向上 ■ 資源ロス削減、環境に優しい素材の利用 ■ 3R、廃棄物の循環利用促進 ■ 環境負荷の低減に役立つ資材の使用促進 ■ 都市の気温上昇に対する適応 ■ 洪水や自然災害への対応 ■ 道路整備（遮熱性・保水性対策） ■ 水質汚染の軽減、地下水の保全	■ CO₂排出量の低減 ■ エネルギー使用量の削減 ■ 再生可能エネルギー利用量の増加 ■ 廃棄物排出量の低減 ■ 廃棄物循環量の増加 ■ 気温上昇に対する適応能力の向上 ■ 洪水や津波、その他の自然災害への対応能力の向上 ■ 遮熱性・保水性の向上 ■ 水質汚染の改善
2	生物多様性の恵みを受け続けられる、自然と共生する豊かな社会の実現	■ 緑の創出・保全（公園整備、都市の緑化推進及び森林整備等） ■ 生物多様性の保全（海上公園の干潟整備等）	■ 緑地面積の拡大 ■ 整備面積の拡大
3	都民の安全・健康が確保された、より良質な都市環境の実現	■ 大気汚染の軽減 ■ 土壌汚染対策の推進 ■ 有害廃棄物等の処理促進	■ 大気・土壌汚染の改善 ■ CO₂排出量の低減 ■ 廃棄物循環量の増加